

平成17年(2005年)3月30日  
中野駅周辺・警察大学校等跡地整備特別委員会資料  
都市整備部中野駅周辺整備担当

平成17年3月23日

杉並区都市整備部  
都市計画課長 様

中野区都市整備部長

「警察大学校等移転跡地の土地利用に関する杉並区関連事項について」  
(平成17年1月28日付文書)等について

平成17年2月21日付、16杉並81267号文書の内容に対する中野区の見解については以下の通りです。

#### 記

##### 1. 防災機能の確保について

防災機能については、警察大学校等移転跡地(以下「跡地」といいます)を含む広域避難場所「中野区役所一帯」に、現在の避難想定人口97,000人に加えて、まちづくりによる人口増加分を含めた約10~11万人が安全に避難出来る有効避難面積(10~11ha)を確保します。そのうち防災公園は、「中野駅周辺まちづくり計画素案」にお示しをした位置に1.5haの規模で設け、隣接の公開空地0.5haを加えて約2haの防災空間を確保するとともに、周辺のオープンスペースを含め全体で3~4haのまとまった空間を確保します。また、当該防災公園に至る幅員20m(区画街路1号)及び16m(区画道路1号)の道路整備を予定しており、補助221号線の整備も今後想定されます。

なお、当区の囲町地区においては、不燃化などに向けてまちづくりの勉強会などを行っており、貴区の跡地に隣接する地区についても、「防災都市づくり推進計画」に示されているように、広域避難場所の機能を向上するために、是非、不燃化などの防災まちづくりへの取り組みをご検討いただきたく思います。

##### 2. 隣接住環境への十分な配慮

平成17年1月28日付けの文書でもお示ししましたが、跡地の土地利用の転換にあたっては、隣接する地区への住環境に配慮した土地利用計画を策定します。しかし、現在は、土地利用の基本的な計画を検討している段階であり、建築物の具体的な姿をお示しするこ

とはできません。今後、検討の各段階に応じてお示しいたします。隣接する地区にお住まいの方々にも十分な情報提供を行い、ご意見も伺いたいと思います。

### 3. 樹木の保存について

樹木を含めた、既存のみどりを可能な限り保全することについては、「中野駅周辺まちづくり計画素案」においてお示しした通りですが、現時点では基盤施設や建築物の配置等が確定できませんので、具体的にお示しすることはできません。なお、植樹などによる新たなみどりを生み出し、まち全体としてみどり豊かなまちとする予定です。

### 4. 清掃関連施設について

土地利用転換計画案に示された（仮）環境・資源センターについては、その時点では内容が具体的ではありませんでしたが、その後の検討の結果、当区としては容器包装リサイクル法による回収プラスチックの資源化センターの設置を想定しているところです。設置場所については、跡地に整備するのではなく、現在行っている区施設全体の見直しの中で検討し、策定予定の10か年計画の中で対応することとしています。

### 5. 開発者負担による都市基盤整備について

跡地における道路、公園等の都市基盤施設整備については、公共側が全面的に負担するのではなく、原則として開発者の負担による整備を考えています。土地を有効活用し、今後想定している都市機能の導入と都市基盤施設の効果的な整備を行う上で、妥当な方法と考えているところです。貴区におかれましても、都市基盤整備につきまして、ご協力をお願いいたします。

### 6. 跡地南西側道路及び補助221号線の整備について

警察大学校等移転跡地に隣接する貴区内市街地における、大火の際の消防力の投入及び焼け止まり効果の観点から、並びに交通処理上、一定の幅員の道路整備が急務であると考えます。具体的な整備にあたっては、地域の方々と十分に話し合いながら進めてまいります。貴区におかれましても、整備へのご協力をお願いいたします。

### 7. パブリック・コメントや地域住民説明会など今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについては、これまでもお示しをしたとおりであり、パブリック・コメントの実施は「中野駅周辺まちづくり計画（案）」公表後の4月に実施する予定です。貴区区民を含む住民説明会や各種団体等への説明会についても必要に応じて開催いたしておりますが、今後とも、貴区に対しての必要な情報提供は適宜、行います。

以上